

特集

熊本の地震災害から学ぶ

熊本地震の特徴と災害対応を振り返って 市原幸

熊本地震災害における発生から復旧に向けた支援を
振り返って 山崎初美

災害時における看護職者の実践力 石井美恵子

母子保健の医療的支援 周産期から心のケアまで 鶴和美穂

「大規模災害における保健師の活動マニュアル」の意義と
活用のポイント 松本珠実

熊本地震を通して DHEAT の視点から考える課題と展望
古屋好美

PHOTO

還暦前後(アラカン)の社会参加を促す取り組み

連載

健康インセンティブ制度見聞録 西内義雄

聞き書き 保健師ものがたり[特別区編] 木村哲也

統括保健師の日々 加生明美

現場の疑問に答える 地域づくり型保健活動 Q&A 岩永俊博

ナカイト発 保健師へのつぶやき 中板育美

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●糖尿病性腎症重症化予防は、新規人工透析導入者の減少などにより医療費を削減することが目的です。各自治体の取り組みを見ると、健診やレセプトデータの分析⇒ハイリスク者の選定⇒医療受診勧奨⇒保健指導の実施、という大きな流れを理解できますが、ポイントはかかりつけ医と専門医、自治体の連携でしょう。また、データヘルス計画との連動も鍵だと感じました。保険者のインセンティブ制度とも絡んでくるだけに、各自治体がどのような特色を出しているのか注目です。(和田)

●新連載「健康インセンティブ制度見聞録」に関連する話。10月に行われた日本公衆衛生学会で、この種の制度の先進県である静岡県で制度の認知度調査の結果が報告されていた。結果は4人に1人程度にしか知られていないという。また、「女性、高齢、就業なし」であることと認知度には高い相関があるが、広報戦略にさらなる検討が必要とのことだった。ちなみに私も居住地域にある制度についてよく知らない。先進事例に学びつつ、周知方法は自治体の地域性などで異なってくるだろう。(杉之尾)

保健師ジャーナル 第73巻1号 2017年1月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税

2017年年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体14,280円＋税、冊子＋電子版/個人：本体17,280円＋税、

電子版/個人：本体14,280円＋税

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：和田/杉之尾/伊藤

Twitter http://www.twitter.com/hokenshiJ Facebook http://www.facebook.com/hokenshiJ

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。